

題材「縮んで縮んで 作ろう私の夢ワールド」（第2時）

1 本時の学習計画 4時間中の第2時

(1) 学習のねらい

自分が思う夢の島を絵にかき、それをどのようにして立体にするかに興味を持った子どもたちが、教師が作ったプラバンの作品に出会うことを通して、プラバンを使って作品を平面から立体にすることの面白さに気づき、夢の島を想像豊かに制作することができる。

(2) 本時の学習材

教師が作ったプラバンの作品

- 前時「どんな夢の島で、どんなことをしようか」を紙に書き、それを立体にすることに興味を持った子どもたちは、どのような材料を用いたら立体にできるかについて語りだすだろう。その意識を捉えたところで、教師は学習材を提示する場を設ける。
- 本学習材は、教師自身の夢の島を描いた、加熱する前と後のプラバン作品である。この学習材に触れた子どもたちは、それぞれの夢の島をプラバンに描き出していくだろう。W・Rは、大好きな恐竜の絵をプラバンに描き、実際に加熱して縮む様子確かめようとするだろう。このようにして、教師が作ったプラバンの作品に出会うことを通して、プラバンを使って作品を平面から立体にすることの面白さに気づき、夢の島を想像豊かに制作できることを期待する。

(3) 学習の展開

過程	学 習 活 動	予想される子どもの動き	時間	指 導 と 評 価
課題把握	1 学習問題を確認する。	学習問題 絵を立体にするためにどんな材料がいいかな。 ・ どうやって立体にできるかな。 ・ プラバンで作るのもしろそう。 ○ プラバンを使って小さな世界を作ってみたい。	10'	・ 教師のプラバン作品やビンを提示し、立体的な世界にすることへの希望をもたせる。 ・ ビデオと大型提示装置を用い、プラバンを加熱している様子を見せる。 学習材 教師が作ったプラバンの作品
	2 学習課題に取り組む。	学習課題 プラバンで夢の島を作ってみよう。 ・ プラバンで描くにはどんな絵にしたらいいかな。 ・ 本を写してみようかな。 ・ フェルトの色は何色がいいかな。 ・ 切るのが難しいな。 ・ 縮むところがおもしろいな。	30'	・ 前時に描いた絵をプラバンで作ることが難しい子どもには助言する。 ・ 図鑑の絵をプラバンに写す方法を紹介する。 ○ プラバンが縮むのでどのような大きさに絵を描いたらいいか指導する。
終末	3 片付け、次時への期待。	○ 次の時間にビンの中に入れるのが楽しみだな。	5'	評価 夢の島を想像豊かに制作することができていたかを児童の活動や言葉から捉える。